

水戸ファンドラップ・マンスリーレポート <安定型>

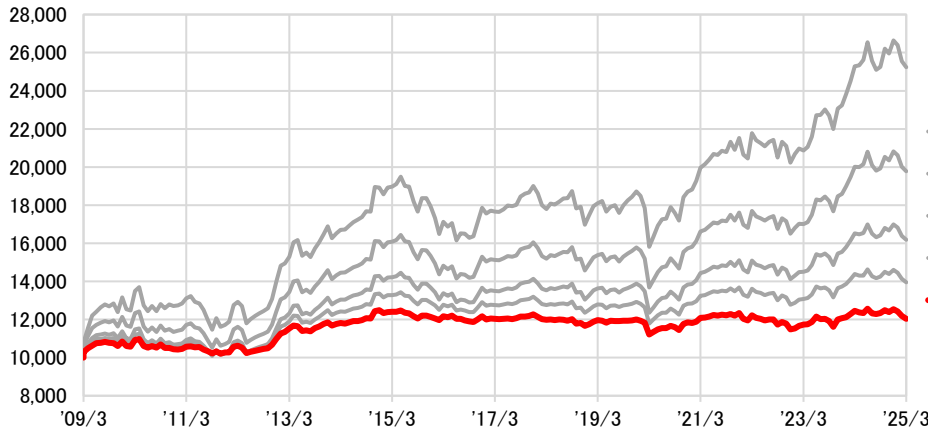


運用状況

基準日: 2025年3月31日

■ 運用パフォーマンス推移 (試算値)

2009/03/02=10,000として指数化



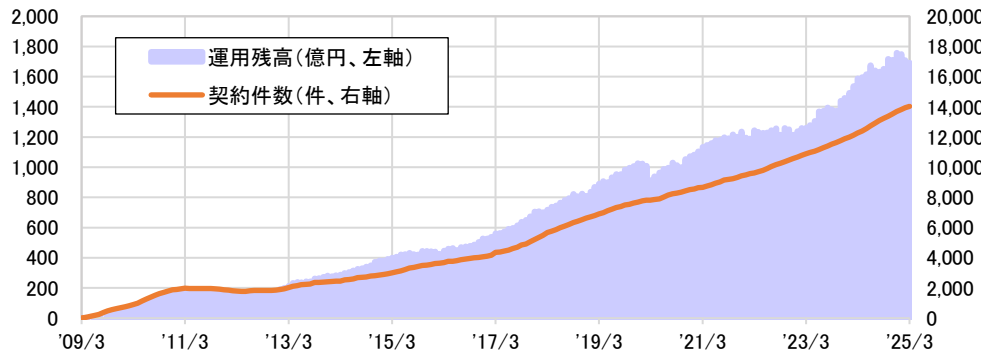
| 試算値 | |
|--------|---------|
| 12,044 | |
| 騰落率 | |
| 1か月 | ▲1.12% |
| 3か月 | ▲3.96% |
| 6か月 | ▲2.38% |
| 1年 | ▲3.35% |
| 2年 | +2.62% |
| 設定来(※) | +20.44% |

※設定来=2009年3月2日以降

(注1) 掲載データは試算値であり、実際の運用とは異なります。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
 (注2) 報酬体系を5千万円以下のAタイプ(税込)として試算。長期保有割引は考慮していません。
 (注3) 1、4、7、10月に固定報酬が引き落としとなります。(注4) 税金は考慮していません。

(出所) Bloomberg、QUICKより水戸証券作成

■ 運用残高・契約件数の推移



| | |
|------|---------|
| 運用残高 | 1,691億円 |
| 契約件数 | 14,030件 |

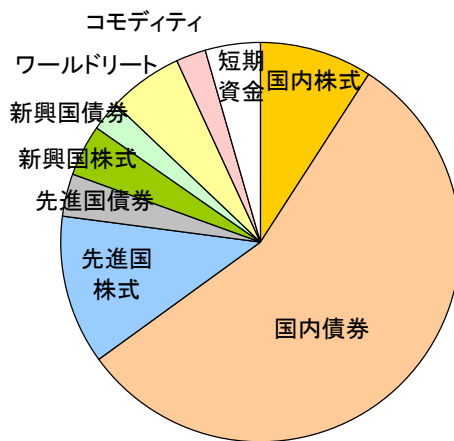
(注1) 運用残高・件数は、全てのコースを合算した金額・件数となります。
 (注2) 掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

■ 採用ファンド騰落率

| | 2月末 | 3月末 | 月間騰落率 |
|---------|-----------|----------|--------|
| 国内株式 | 44,255 円 | 44,337 円 | +0.19% |
| 国内債券 | 10,365 円 | 10,261 円 | ▲1.00% |
| 先進国株式 | 102,514 円 | 98,800 円 | ▲3.62% |
| 先進国債券 | 19,885 円 | 20,093 円 | +1.05% |
| 新興国株式 | 18,308 円 | 18,420 円 | +0.61% |
| 新興国債券 | 38,372 円 | 37,958 円 | ▲1.08% |
| ワールドリート | 15,524 円 | 15,166 円 | ▲2.31% |
| コモディティ | 15,464 円 | 15,489 円 | +0.16% |
| ドル・円 | 150.63 円 | 149.96 円 | ▲0.44% |

国内株式: DIAM国内株式パッシブ・ファンド
 国内債券: DIAM国内債券パッシブ・ファンド
 先進国株式: DIAM外国株式パッシブ・ファンド
 先進国債券: DIAM外国債券パッシブ・ファンド
 新興国株式: シュローダー・エマージング株式ファンド(1年決算型)
 新興国債券: エマージング・ソブリン・オープン(1年決算型)
 ワールドリート: グローバル・リート・アクティブファンド(ラップ向け)
 コモディティ: DIAMコモディティパッシブ・ファンド
 (出所) Bloombergより水戸証券作成

■ 目標配分比率 (TAA)



| | 投資判断 (SAA比) |
|---------|-------------|
| 国内株式 | 中立 |
| 国内債券 | 中立 |
| 先進国株式 | 中立 |
| 先進国債券 | 中立 |
| 新興国株式 | やや強気 |
| 新興国債券 | 中立 |
| ワールドリート | 中立 |
| コモディティ | 中立 |

(注1) 年1回の長期的な相場見通しに基づいた基本配分比率(SAA)に加え、短・中期的な相場見通しに基づいた配分比率の変更(TAA)を随時行います。
 (注2) 円グラフは、基準日における目標配分比率(TAA)を使用しています。
 (注3) 目標配分比率は基準日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

【審査部審査番号 2504039号】

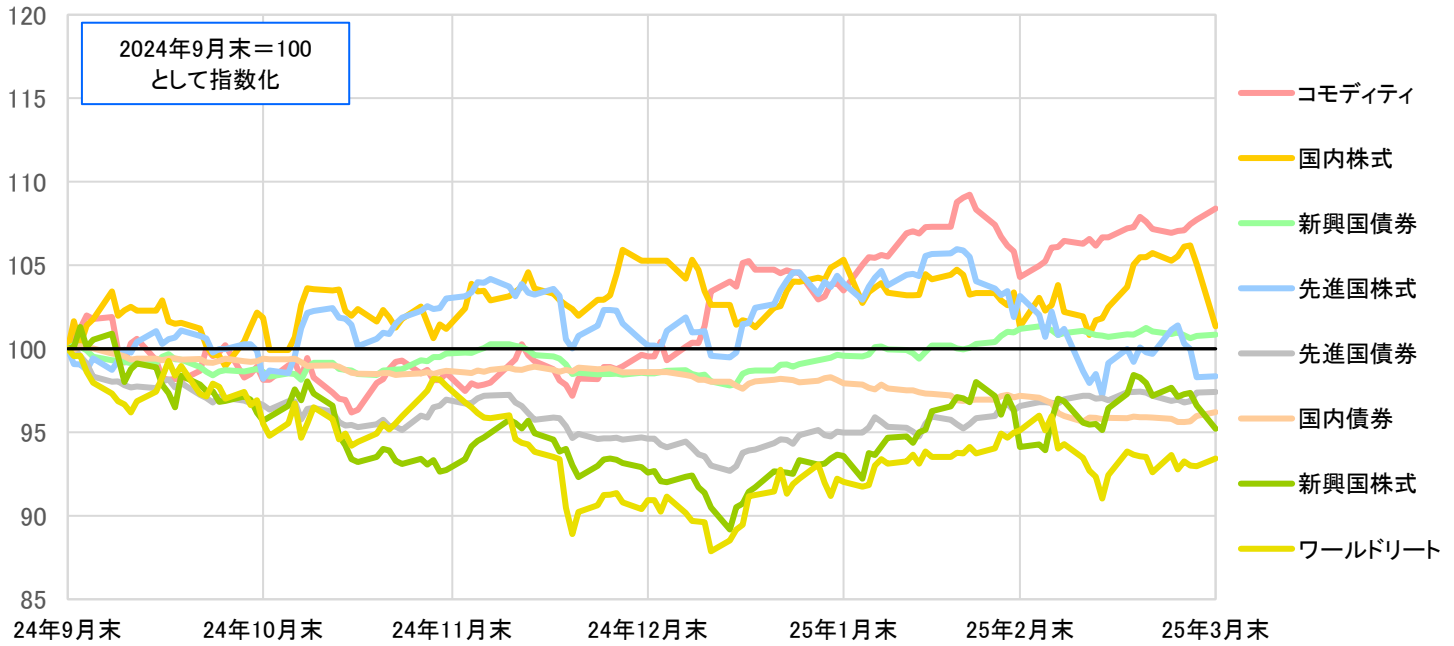
※最終ページの重要な注意事項(リスクについて、手数料について等)をご覧ください。





8資産 参考指数推移 <直近6か月間>

(データ期間：2024年9月30日～2025年3月31日)



(注) 各資産とも、Bloombergが算出する代表的な指数を使用。
(出所) Bloombergより水戸証券作成

市場動向

| 資産クラス | 3月の概況 |
|---------|--|
| 国内株式 | 米国の関税政策や米国景気に対する懸念が重しとなる半面、米著名投資家の商社株買い増しが明らかになったこと等が支援材料となりました。月末にかけては、米国の関税政策等に対する警戒が強まり、急落しました。 |
| 国内債券 | 欧米の金利上昇が波及したほか、日銀の追加利上げに対する警戒が続き、軟調に推移しました。月末にかけては、株安を受けたリスク回避の動き等から反発しました。 |
| 先進国株式 | 米トランプ政権による関税への懸念や、中国の半導体規制等を背景に米ハイテク株が下落したこと等が重しとなり、上値の重い推移となりました。 |
| 先進国債券 | ドイツの国債発行が大幅に増加するとの見通しが広がったこと等が重しとなる半面、米国景気に対する懸念が高まったことや、株安を受けたリスク回避の動き等が支援材料となり、上昇しました。 |
| 新興国株式 | 月初は、中国のテック株への買いや、中国当局による政策期待等を背景に買いが先行しましたが、トランプ政権の関税政策が懸念され、月後半から月末にかけて軟調な推移となりました。 |
| 新興国債券 | 米FOMC（連邦公開市場委員会）の結果を受けた米国債の買いが新興国債券市場に波及しましたが、米国の関税政策がインフレ再燃につながるとの見方から、月末にかけて売りが優勢となりました。 |
| ワールドリート | 米トランプ政権による関税への警戒感等から、中旬にかけ大きく下落しましたが、米FRB（連邦準備制度理事会）の利下げ見通しが維持されたこと等を背景に、反発しました。 |
| コモディティ | 米国によるイランやベネズエラに対する制裁への思惑から原油価格が上昇したことや、地政学リスクの高まり等を背景とした金価格の上昇等から、堅調な推移となりました。 |
| ドル・円 | 前半は日米の金融政策をにらみ円買いが拡大したこと等から、一時1ドル=146円台までドル安・円高が進みました。月末にかけては米長期金利の上昇等から一時151円台に戻す展開となりました。 |

※最終ページの重要な注意事項(リスクについて、手数料について等)をご覧ください。

Humanitation—信頼のきずな



投資環境見通し

- ◆米トランプ政権は4/2、注目された相互関税の詳細を公表し、国ごとにかかる関税率が想定以上だったとの受け止めから市場のリスク回避姿勢が強まりました。ただトランプ大統領は、就任直後から国ごと品目ごとの関税策を矢継ぎ早に打ち出しており、市場の織り込みはある程度進んでいたと思われます。投資マネーの動きからは、既に米国株離れ、欧州・中国等への資金シフトも見られています。
- ◆関税強化により米国への投資呼び込みを狙ったトランプ大統領の狙いは裏目に出た格好で、米国一強の構図は揺らぎ始めています。当面は各国からの報復措置も予想され、世界的な保護主義の加速や景気減速が懸念されます。しかし今後、トランプ政権が掲げる減税、規制緩和等のポジティブな政策に焦点が移れば、世界の金融市場を取り巻く不確実性は徐々に解消に向かうと思われれます。
- ◆3月に発表された先進国のインフレ率（CPI）は、米国と欧州、英国、日本で、前年比での伸びが鈍化しました。
- ◆3月の主要国の金融政策では、欧州中央銀行は政策金利を引き下げました。米FRB（連邦準備制度理事会）と英イングランド銀行、日本銀行は、政策金利を据え置きました。
- ◆先進国の株式相場は、上値の重い推移を想定します。米景況感を示す経済指標の悪化等を背景とした、米景気減速懸念の高まりはやや過剰だと考えますが、米トランプ政権による関税への懸念が燻っていることや、これまで上昇をけん引していたハイテク株の調整等が重しになると思われます。新興国株式は、全人代（全国人民代表大会）において、中国当局の景気支援姿勢が示されたことや、中国の新興AI企業への期待等が高まる展開を予想します。一方で、米国の対外政策には警戒が必要です。
- ◆先進国の債券相場は、方向感を模索する展開を予想します。足もとの米国景気に対する懸念の高まりが相場の支援材料となる一方、トランプ政権の関税政策を受けてインフレへの警戒が強まれば、下押し材料となりそうです。新興国債券は、米国債や米金融政策の動向に振られる展開を予想します。
- ◆原油相場は、米景気減速懸念や、米トランプ政権によるエネルギー供給拡大方針に加え、OPEC（石油輸出国機構）が4月からの増産を決定したこと等から、軟調推移を予想します。
- ◆ドル・円相場は、米関税政策の影響をにらみ方向感を探る展開が続くと予想します。今後の交渉により関税率の引き下げ余地がある他、投機筋のドル売り・円買いは歴史的な水準まで積み上がっており、追加的な円買い余地（円高余地）は限られるとみられます。



(注)上記の内容は4月7日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

☆水戸ファンドラップからのお知らせ☆

水戸ファンドラップ 資産承継特約「相続時受取人指定サービス」について

水戸ファンドラップの運用資産を対象として、水戸ファンドラップをご契約中のお客さま(以下、「お客さま」といいます。)がその資産をお渡ししたいご家族(以下、「受取人」といいます。)をあらかじめご指定いただくことにより、お客さまに万が一のことがあった場合に、受取人さまが簡単な手続きで資産承継できるサービスです。

【サービスの流れ】

<ご契約時>

①死因贈与契約の締結

お客さまと受取人さまの間で、相続時に効力が発生する死因贈与契約を締結します。

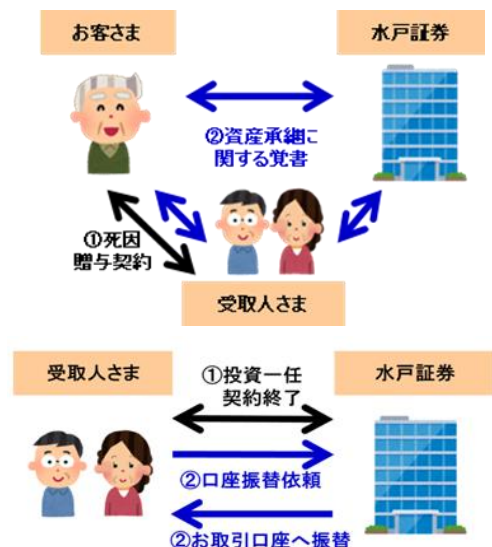
②資産承継に関する覚書の締結

お客さま、受取人さま、水戸証券の三者間で、資産承継に関する覚書を締結します。

<相続が発生した場合>

①水戸ファンドラップ投資一任契約は終了となります。

②受取人さまが当社へ所定のお手続きを行っていただくことで、水戸ファンドラップの換金されたご資金を、弊社の受取人さまご名義の証券総合口座へ振り替えます。



※最終ページの重要な注意事項(リスクについて、手数料について等)をご覧ください。



「水戸ファンドラップ」のリスクおよび手数料について

【リスクについて】

- ・「水戸ファンドラップ」は、投資一任契約に基づき有価証券等に投資する取引です。運用成績は、投資一任契約に基づき運用される有価証券等の価格変動に応じて変化します。
- ・「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託は、主に株式および債券等値動きのある証券(外貨建て証券は為替リスクもあります)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特にエマージング市場等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与えることがあります。したがって、投資元本が保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、運用における損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。
- ・資料に示された過去の実績は、将来の結果を保証するものではありません。

【手数料について】

- ・「水戸ファンドラップ」は、運用資産残高に応じて、定期的に報酬(手数料)をご負担いただきます。報酬の体系には、「Aタイプ(固定報酬のみ)」と「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」の2つがあり、ご契約の際、お客さまに選択していただきます。
- ・「Aタイプ(固定報酬のみ)」:残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大2.090%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」:固定報酬については、残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大1.567%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。成功報酬については、成功報酬評価基準日での収益相当金額に対し11.0%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・上記以外に、「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託の信託報酬として、純資産総額に対し最大で1.7908%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。また、換金時の基準価額に対し最大0.5%を乗じた額の信託財産留保額をご負担していただく場合があります。さらに、運用状況に応じこれら投資信託の監査費用等が別途必要になりますが、事前にその料率・上限額等を示すことはできません。

※ リスク・手数料についての詳細は、ご契約に際しあらかじめまたは同時にお渡しする「約款・規定集」、「契約締結前交付書面(A)」、「水戸ファンドラップ契約締結前交付書面」、「水戸ファンドラップ口座約款」、「水戸ファンドラップ投資一任契約約款」、「各投資信託説明書(交付目論見書)」等をご覧ください。

水戸証券株式会社

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

- ・当資料は、当社(水戸証券株式会社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。投資にあたりましては、ご自身の判断でなされますようお願い致します。
- ・当資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性や完全性、将来の運用成績について保証するものではありません。また、内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

Humanitation—信頼のきずな

